Weekly Report of Inuyama

犬山ロータリークラブ INUYAMA R.C.

創立56周年

ロータリー：変化をもたらす

国際ロータリー2017～2018年度テーマ

Rotary 第2760地区 犬山ロータリークラブ

■会　　長：吉 田　洋
■幹　　事：原　正 男
■会報委員長：保浦　博志

事務所／〒484-0081　犬山市大字犬山字西畑 22-5
電　話／0568-61-5219　F A X／0568-61-5523
U R L／http://www.inuyama-rc.org/　e-mail／info@inuyama-rc.org
例会場／〒484-0082　犬山市大字犬山字北古券 107-1 名鉄犬山ホテル
電　話／0568-61-2211　毎週火曜日／12：30～13：30

第２７４１回　例　会　（Ｈ３０．５．２２　火　晴れ　）

点　鐘　吉田 洋会長
R．S　それでこそロータリー　四つのテスト
幹事報告　原 正男幹事
1）会報受信クラブ　可茂
2）下記クラブは法定休日又は定款による休会です

クラブ名	例会日（曜）	クラブ名	例会日（曜）
瀬　戸　北	5月29日(水)	愛知長久手	5月29日(水)
名古屋城北	5月29日(水)		

下記クラブは例会変更です

クラブ名	例会日（曜）	場所（変更理由）
岩　　倉	5月29日(火) →5月26日(土)	(佐久 RC 創立 40 周年記念式典)
各　務　原	5月30日(水)	(IGM 夜間例会)
可　　児	5月31日(木)	(例会場都合)

出席報告（宇佐美芳樹委員）
出席率　87.50%
会員 55 名　出席 42 名　欠席 13 名
欠席者　藤井友喜君　板津英基君　中村大輔君
小川保利君　岡田雅隆君　鈴木一成君

前例会の修正(5/15 分)
松山基邦君(5/18eCLUBONE)河田敏和君(5/10 可児 RC)中村大輔君(5/17eCLUBONE)塚原義成君(5/10 各務原中央 RC)宇佐美芳樹君(5/20eCLUBONE)山本幸夫君(5/21eCLUBONE)山根雄司君(5/9 可茂 RC)安田一生君(5/16eCLUBONE)
以上 83.33%を 100%に修正

前例会の修正(5/8 分)
小田漠己君(5/17eCLUBONE)宇佐美芳樹君(5/20 eCLUBONE)
以上 96.15%を 100%に修正

祝　福（稲垣圭次委員長）
おめでとうございます！！
会員誕生日　岡田　雅隆君
結婚記念日　小川宏嗣君夫人

ニコボックス（塚原義成委員長）
本日の投函金額　6,000 円

会 長 挨 拶（吉田 洋会長）

「 最近話題になっている麻疹 」

最近話題になっている麻疹（はしか）についてのお話をいたします。ここにおられる皆様半分の方には直接は関係ない話だと思われます。

はしかについては数年前に世界保険機構（WHO）は日本においては土着のはしかの流行はなくなったと発表いたしました。それまでは日本ははしかの蔓延国で後進国扱いをされていました。特にアメリカに留学する日本人は要注意とされ予防注射が十分に打っていない場合留学を許可されない場合もみられました。
最近の流行はタイから台湾経由で感染した人が沖縄で発症して沖縄の病院の待合室からさらに感染しそれが名古屋の日赤の待合室でさらに感染流行したのが始まりの様です。このウイルスの遺伝子の型も日本に以前からあるものと異なっているようです。その後タイからの感染者も加わり現在は全国で 100 人以上の患者が出ているようです。特に 30 代から 50 歳くらいの人ははしかの予防注射が 1 回しか打ってなくて十分な免疫をもっていないのが流行の原因となっております。私の年代の人たちは子供の時にかかっていることが多く十分な免疫がありほとんど感染しません。また 20 代以下の人は少なくとも 2 回は予防注射を打っており何らかの原因で予防注射を打っていない人以外はやはり感染しないようです。

感染すると約 10 日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2～3 日熱が続いた後、一度解熱してから 39℃以上の高熱と発疹が出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者 1,000 人に 1 人の割合で脳炎が発症すると言われています。死亡する割合も、先進国であっても 1,000 人に 1 人と言われています。

麻しんは感染力が強く、空気感染もするので、手洗い、マスクのみで予防はできません。麻しんの予防接種が最も有効な予防法といえます。また、麻しんの患者さんに接触した場合、72 時間以内に麻しんワクチンの接種をすることも効果的であると考えられています。接触後 5、6 日以内であれば、γ-グロブリンの注射で発症を抑えることができる可能性がありますが、安易にとれる方法ではありません。予防注射についてですが今回の騒ぎで 4 月上旬にはしか単独ワクチンは入手不能となりました。仕方なく風疹と麻疹の混合ワクチン（MR）を使用していますがこのワクチンは避妊が注射前ひと月あと 3 月必要です。

またこのワクチンももともと子供に 2 回定期接種が必要なのですが、もしそれが足りなくなると大変なので大人に対しては出荷調整が始まっています。昨年のインフルエンザといい今回の麻疹といい予防注射には悩ませられます。

✣✣✣

＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊

◎第１部第４分科会／第２部第１分科会
真野健二 次期米山記念奨学会委員長

第１部第４分科会（米山記念奨学部門）
テーマ：米山の輪を拡げよう
第２部第１分科会（クラブ管理部門）
テーマ：ロータリーを楽しみ、
会員基盤を強化しましょう！その２

何のための事業か、将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成すること。「平和と国際理解の推進」
RC メンバーと交流することにより、日本に対する理解を深める（日本ファン）。経済的な負担をすることが主たる目的ではない。

決定方法　ハードルが高い

学校推薦→書類選考→面接
（今年度は 107 人面接中 34 人合格）

2017 年度奨学生数 793 人。累計 10,808 人。
世界 125 か国
※外国人留学生 DATA
高等教育機関における留学生
中国　44%
ベトナム　16.7%
韓国・ネパール　7.9%

寄付
普通寄付金→全ロータリアン定期寄付 年間 5,000 円
（各クラブが決定）×会員数をクラブより送金
・安定財源確保が必要　1967 年財団法人認可申請時に国内全クラブから普通寄付の確約を条件として設立許可を得た
特別寄付金→任意寄付
金額に決まりは無くロータリアン以外も
・米山委員長のテーマとして特別寄付金の寄付率を上げたい。
当クラブ 86.2%（2017 年 6 月 30 日現在）

＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊

◎第１部第５分科会／第２部第５分科会
小川 誠 次期青少年奉仕委員長

第１部／第２部 第５分科会（青少年奉仕部門）
テーマ：学友クロスプロモーションの実現に向けて
次年度青少年奉仕委員長を仰せつかりました小川誠です。過日行われました地区研修・協議会第５分科会のご報告をいたします。
次年度、青少年奉仕委員会のテーマは「学友クロスプロモーションの実現に向けて」です。
我が犬山 RC の岡田雅隆地区青少年奉仕委員長より活動方針が示されました。
その詳細につきましては、当クラブの前々例会にて、岡田さんから詳しくご説明がありましたので、ここでは割愛させていただきます。尚、当日お休みされた方や忘れてしまわれたかたは５月８日の週報をご一読ください。

次に地区インターアクト委員会の活動方針では、インターアクターは地域における奉仕活動を通して４つの事柄の重要性を学び、更なる意識の高揚を育みます。

①指導力とその誠実な人格の育成（リーダーシップ）
②他者を助け、他者を尊重することの大切さ（思いやりの心）
③各人の責任を果たし、懸命に努力することの尊さ（責任感・人間力）
④国際理解と親善の推進（国際感覚）

次に地区ローターアクト委員会の活動方針では
①専門技術及び指導能力を開発すること
②他人の権利を尊重する観念を養い、あらゆる有用な職業の道徳的水準及び品位を保持し推進すること。
③若い人々に地域社会をはじめ世界社会のニーズ及び懸念事項を提起する機会を提供すること。
④提唱ロータリークラブと協力して活動に当たる機会を提供すること。
⑤ロータリーにおける将来の会員として若い人々の意欲を喚起すること。
以上を目標とされました。
そして、地区 RYLA 委員会では「心をつなげよう共生と思いやり」をテーマとして活動方針が示されました。本年度の第 27 回 RYLA セミナーは、11 月 23 日から 25 日に豊田で行われ、当地区では初めてホストクラブ制をとらず、委員会メンバーの手作りで展開されます。
最後に地区青少年交換委員会では「あなたのロータリークラブから青少年交換留学生を」を年間のテーマとして進めていて現在 10 名ほどが夏の出発に向けて研修を受けております。
また、問題点としましてホストクラブの偏りがあげられました。
いずれの委員会も将来を担う青少年に素晴らしいプログラムを用意しておりますので、是非皆様のお子様やお孫様のご参加・ご協力をいただけることをお願い申し上げ第５分科会の報告とさせて頂きます。ありがとうございました。

＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊

◎第１部第６分科会／第２部第６分科会
野倉達雄 次期ロータリー財団委員長

第１部／第２部 第６分科会（ロータリー財団部門）
テーマ：ロータリー財団の役割とは
第６分科会で行われたロータリー財団委員会の報告をさせて頂きます。
まず最初に、中村次期地区ロータリー財団委員長から挨拶がありました。その内容は次年度は世界ポリオ撲滅推進活動を行っているので、ポリオプラス基金を最優先課題にするとの事でした。
四つの小委員会がありますが、最初に地区資金推進委員長より地区財団寄付目標が示されました。
1.ポリオプラス基金：1 人当り 30 ドル（必達）
必達ということは必ず達成して下さいということだ

と思います。個人で 30 ドル寄付かクラブ会費などで捻出するかはクラブで検討して下さいとのことです。大山クラブの財団委員長としては一度に 180 ドルの寄付を皆さんからお願いするのは非常に心苦しいので、クラブの方で対応して頂ければと思っております。

このポリオプラスにつきましては、加藤浩一さんが地区のポリオプラス副委員長でもあります。この分科会でも外国におけるポリオの実態を写真を交えて説明をされました。このポリオ基金に付いては 11 月の財団月間にでも卓話をお願いできればと思っています。

2.年次基金：1 人当り 150 ドル
3.恒久基金：各クラブ 1 名以上（ベネファクター）
4.RC カード：クラブカードの普及
（ダイナースカード等）
利用料の 0.3%～0.5%がポリオ基金に回るとの事です。
5.メジャードナー：地区 5 名以上

次に地区補助金委員長より補助金事業の申請方法とか報告の際の注意事項など詳細な説明がありました。

昨年は 57 クラブよりあり、今年度は約 60 クラブより申請がありそうだということです。

次に奨学基金・平和フェローシップ委員会より財団奨学生基金の説明がありました・今年度は 7 名の小学生を派遣したとの事です。

最後に資金管理委員会より補助金事業について資金使途が不明確にならないようにとか、事業内容を勝手に変更しないように、資金管理をしっかりするように、などの説明がありました。

このロータリー財団委員会は皆さんから寄付を募るという委員会ですので、絶大なるご協力をよろしくお願い致します。

＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊

◎第 1 部第 7 分科会／第 2 部第 1 分科会
山根雄司 次期会員増強委員長

第 1 部第 7 分科会（会員増強部門）
テーマ：健康なクラブ作りの為の会員増強
第 2 部第 1 分科会（クラブ管理部門）
テーマ：ロータリーを楽しみ、
会員基盤を強化しましょう！その 2

開会のあと、豊田東 RC 沢田次期会員増強委員長の挨拶で始まりましたがその中で「新会員の入会と特に女性会員の入会に力を入れてください。又、現会員については退会防止に努めていただくようにお願いします。本年 8 月は会員増強月間となっております。目標として現会員（地区）4,900 名を 5,000 名に設定して強力に進めていきたいので、ご協力をお願い致します。過去には会員数 6,000 名の時もあった･･･」とご挨拶をいただきました。

続いてアシスタントリーダー半田南 RC 松林副委員長は会員増強に当たって、

①クラブの現状の評価
②職業分類のバランス（地元の職業を反映したクラブに）
③会員の多様性、男女比率、40 歳以下の会員は多様な考え方が奨励されているかどうか
④クラブの革新性と柔軟性
2016 年規定審議会後、例会の時間と場所を変えたり、出席要件をゆるくしたり、新規会員や若い会員の会費の減額、会員種類の多様性をもたせるといった柔軟性を取り入れられるようになり会員のニーズに沿ったクラブ運営を行うことで会員の意欲を引き出すような変更をご検討ください。
⑤地域社会におけるロータリークラブの存在感
ロータリークラブは一体何をする団体なのか。地域社会への貢献度は？一般にはあまり理解されていません。クラブで活用できるデジタルコミュニケーションとして、ウェブサイトだけでなくフェイスブック、ツイッターリンクトレインなどのソーシャルメディアを活用し、イベントや活動の情報の発信をしたり、関心を同じくする人や団体とつながり地域におけるクラブの認知度を高め、入会候補者や協力団体の関心を引き、会員情報を伝える最適な方法であります。又、ロータリーのユーチューブチャンネル活用も一つの方法です。クラブのイメージ作りには充実したホームページも必要です。

次に、名古屋錦 RC 石井弘子副委員長は、入会候補者へのアプローチの方法について説明をいただきましたが、若い職業人を入会させる為には、

1.一定期間会費を免除または軽減する。
2.例会の会費を減額するか、食事を任意とする。
3.若い職業人の関心を引くような親睦活動やネットワーク作りのチャンスを設ける。
4.数人を同時に入会させ、クラブに馴染めるようにする。

等など、会員増強に関する説明をいただきましたが、そのまま実行に移すのではなく、クラブの歴史と伝統と実績を十分に加味し、新しい道を模索するのは有りかなと思いました。

以上で、第 7 分科会の報告と致します。

ご 報 告

○春季米山奨学生学友合同研修会

去る 5 月 19 日(土)春季米山奨学生学友合同研修会が行われました。米山奨学生ホァンティルェンさんと真野次年度米山記念奨学会委員長が参加され、金シャチ横丁を散策、名古屋城を堪能されました。